

平成31年度

事業報告

指導要項

社会福祉法人北日野こもれび会
障害福祉サービス事業所
ぴーふるファン
第2ぴーふるファン
共同生活ぴーふるファン

基本理念及びそれに基づく基本方針

理 念

障害のある人の、人生を輝かせる職場の提供と、人生を楽しむ暮らしを支援する。

基本方針

1 利用者の人権と主体性の尊重

障害者の社会生活及び日常生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者個人が尊厳を持ちその人らしい生活を送れるように支援します。

平成 31 年度月次利用者数（延べ人数）

稼働日	4月 22日	5月 23日	6月 22日	7月 23日	8月 23日	9月 22日	10月 23日	11月 22日	12月 23日	1月 23日	2月 21日	3月 23日
移行 現員 0名	0 0%	0 0%										
生介 現員 10名	217 99%	226 98%	211 96%	226 98%	218 95%	206 94%	228 99%	212 96%	227 99%	224 97%	205 98%	225 98%
B 型 現員 25	552 96%	560 97%	544 99%	577 96%	550 96%	508 96%	561 98%	533 97%	561 98%	603 97%	548 97%	585 98%
第 2B 現員 17	366 98%	389 99%	362 97%	355 96%	364 99%	369 99%	361 98%	350 99%	363 99%	318 99%	294 100%	317 98%

- * 第 1 ぴーぷるファン延べ 9,307 名に支援しました。（平均出席率 97%）
- * 第 2 ぴーぷるファン延べ 4,208 名に支援しました。（平均出席率 98%）
- * 共同生活ぴーぷるファン現員 6 名（定員 8 名）に支援しました。
- * 就労移行支援事業は、年間を通じて利用者が一人もいませんでした。市と相談し、令和 2 年度より、第 1 ぴーぷるファンの事業内容を一部変更しました。（県へ届け出済み）
第 1 ぴーぷるファン（就労継続支援 B 型定員 30 名・生活介護 10 名）といたしました。
- * 4 月に新規利用者 2 名獲得するも、問題行動により 2 名退所。1 名がガンにて長期欠席。
2 名が就労にて退所。1 昨年に比べ、年間平均 3 名の利用者数減となる。

2 利用者のエンパワメントの視点に立った自立促進

個別支援計画に基づき、自らの生きる力を高め自立自助を目指す多様なニーズに応える指導・支援をします。

- * 第1ぴーぷるファン就労継続支援B型より、7月男性1名、9月女性1名一般就労いたしました。（女性1名は、みんサポホームも退所。自宅引取。）
- * ぴーぷるファン共同生活ホーム女性1名退所自宅引取（家出を繰返し、警察要請あり）

3 安全で安心充実した地域生活の確立

工夫された日常生活や社会参加活動等の体験・訓練を通じて、精神や身体を鍛え、心身の健康と、安心・安全な充実した地域生活が送れるように支援します。

- * 各種鍛錬会及び土曜日カルチャー講座（療育事業）等で、心身を鍛え、就労事業等出席率を高めました。
- * 福井県・越前市の障害スポーツ大会参加。
- * 茨城国体のボウリング選手男性1名選出されるも、豪雨災害のため派遣できず。
- * 福井県アビリンピック大会PCワード部門優勝女性1名。全国大会は辞退欠席。

4 感情を育成し生き生きとした日常生活を獲得する

生きるのに必要である「意欲」や行動の原点となる「やる気」を育成するため、多方面に渡る療育事業を実施し、もって感情全体を育成する。

- * 福井県総合スキルコンテスト参加（軽作業部門1・2位・調理部門2・3位・弁論2位・接遇入賞無）
- * 各種鍛錬会実施（時系列年間事業報告参照）
- * 毎週土曜日のスポーツ・音楽・調理等各種セラピー事業実施（カルチャー講座）
- * 自動車総連ふれあいスポーツ大会参加
- * ミニ文化祭実施

5 地域における公益的な取組みの実施

（経営の原則）社会福祉法（第二十四条第2項）に基づき、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供できるよう努めなければならない。（社会福祉法人の責務）（社会福祉法人の非課税の根拠）これらの取組み実施から、地域共生社会実現への道筋とする。

- * 越前市赤十字奉仕団・越前市婦人福祉協議会ボランティア受け入れ。
- * 県立特別支援学校（福井南・南越）実習生受入れ
- * 日中一時支援事業による、高等部生徒受入れ（春・夏・冬）

- * 他県共同受注協会研修受入れ（京都府 25 名・徳島県 30 名・新潟県 1 名）
- * 福島県就労センター研修会 80 名講師派遣 1 名
- * 日本財団全国就労セミナー1500 名講師派遣 1 名
- * 越前市笙ネット参加係員 1 名
- * 越前市障害者雇用試験面接官協力
- * 越前市新人職員研修講師
- * 越前市障がいスポーツクラブ支援（理事長・理事各 1 名）
- * 越前市家内労働指導センター・越前市社会就労センター事務局支援
- * 福井県知的障害者福祉協会アールブリュット展示係員・研修会係員派遣。

平成 3 1 年度 事業所の努力目標

努力目標

（1） 地域福祉（CO手法の利用・構築）

「地域に根ざす社会福祉法人・障害福祉サービス事業所」「社会の一員」ということを前提に、地域社会をはじめ各種団体との交流を発展させ、他事業所との交流、企業・ボランティアの積極的導入を年間通して実施する。また、学校関係・各種団体・地域企業等との強い信頼されるネットワーク作りを拡大するよう努めると共に、地域の人々と好ましい関係を作る。これらは自立への大切なプロセスとの認識により、地域との連携を深めていきます。

- * 福祉的地域ニーズを掘り起こし、社会福祉法人としての公益的な責務を積極的に果す。

（2） 職員の資質向上

臨床（実践的対処）は、人材であり、高度な技術のある福祉サービスを提供し続けることや、次世代へ事業を引き継ぎ、切れ目の無いサービスを行うためにも、職員の育成は欠かすことのできないものである。また、福祉サービスの基本理念に支えられた福祉事業所は、コンプライアンスルールの確立はもとより、管理者を含む職員一人ひとりにおいて、社会福祉分野における国家資格制度としての、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士または、社会福祉主事等の、資格取得を目指すとともに、各種研修制度を活用し、新しい時代の福祉サービス人としての一層の知識と見聞を広め資質の向上を図ります。

- * 社会福祉士・福祉主事等資格取得へのチャレンジ。
- * サービス管理責任者育成 3 名

（3） 非常緊急時の体制整備

障害福祉サービス事業所には、利用者の生命財産を守るという絶対的使命があります。日常の事業所運営においては、非常事態における生命財産の保護に備えた体制整備が絶対視されています。災害時や、事故、急病などに対処した緊急時地域協力体制などの整備も目標としていきます。

* 年2回の防災訓練・Jアラート試験

* 食品衛生法改正により、HACCP義務化（2020年6月）や老朽化した建屋問題を県・市と相談、食品加工棟建替え工事業実施10月より（市の指示に従い10社入札・県より国庫補助対象事業となる）令和2年5月末受渡となる。

（4） 高齢化・重度多様化対策

利用者の高齢化・障害重度多様化対策として、各種療育プログラム（音楽療法・運動療法等）の充実を図り、余暇・レクリエーション支援も実施する。地域のあらゆる社会資源との協調体制を進めていき、環境整備・処遇向上に努めます。

* 作業の機械化の更なる取組進展（第1ピーぷるファン）

* 各種鍛錬会・カルチャー講座（スポーツ療法他各種セラピー取入れによる心身の訓練実施）

（5） 社会的公益事業への取組み目標

- ・越前市地域公益活動推進協議会（笹ネット）への加入（係員1名派遣）
- ・NPO法人越前市障がいスポーツクラブ運営協力（理事2名・指導員派遣・事業協力）
- ・越前市社会就労センター協議会運営事務局（家内労働支援・生活困窮者自立支援事業協力）
- ・県内嶺北管内特別支援学校2校（福井南・南越）体験就労実習協力
- ・市内各種福祉団体研修協力（日赤奉仕団・婦人福祉協議会・民生委員児童委員会等）
- ・各種協会協力（日本セルフ・全国社会就労センター協議会・県社会就労センター協議会等）

* 以上実施

生活支援の目標

次の事を重点的に、基本的な生活習慣の確立、集団生活への適応を養う。

- （1）健康・衛生・安全に気を配り、丈夫な心身を作るよう支援します。
- （2）目標を持ち、決まりや約束はかならず守れるように支援します。
- （3）コミュニケーションの第一として、元気でさわやかな挨拶の励行が出来るよう支援します。
- （4）生き生きと、明るく素直で、お互いが助け合う思いやりの心と感謝の心を養うよう支援します。
- （5）余暇を上手に使うよう支援します。
- （6）健全な金銭感覚を養うよう支援します。
- （7）地域社会との交流や行事に参加するよう支援します。
- （8）新聞・ラジオ・テレビ等に目を向け、社会の動きに関心を持てるように支援します。
- （9）いろいろな体験を通じて、生きる意欲・就労へのやる気を含めた感情を育てていきます。

各種療育事業を駆使し、感情を育成する。

- (1) 生き生きとした生活をしてもらう為にやる気や意欲といった最も育成しなければならない感情は、それ自体では育成しづらいものであるがゆえに、各種の療育事業（レクレーション療法・音楽療法・運動療法・各種コンテスト・スポーツ大会その他カルチャー講座）を年間通して実施し続け、これを通して利用者個々の感情を豊かに育成します。

就労指導の目標

技能の開発と訓練・職場マナーの涵養

- (1) できるだけ多種多様な生産活動に挑戦し、それぞれの利用者が持っている潜在的な能力が開発され、活かされるように努めます。
- (2) 委託加工においては、年間の作業量の目標達成及び正確かつ能率的な作業を目指します。
- (3) 自主生産及び販売事業においては積極的な新商品の開発に取り組むとともに、地域社会との融合を図っていきます。

職業的技術の向上と職場での適用能力を養う。

- (1) 職場体験実習・施設外就労実習を通して、自立・自活の認識を深め、社会生活に順応できる力を育て、働く喜びを高め且つ一般就労への力を育てていきます。

工賃向上責務

- (1) 就労継続支援 B 型においては、利用者が自立した日常生活、または、社会生活を営む事を支援する為、工賃の水準を高めるよう、努めなければならない。(法第二百一条) その責務が示されている。

第 1 ぴーぷるファン就労継続支援 B 型 平均工賃 85,162 円×24.2 名

第 2 ぴーぷるファン就労継続支援 B 型 平均工賃 72,816 円×17.0 名

* ヒヤリハット

- ・機械操作ミス（ドリル・カット機・ハンドシール機・刃物） ケガにつながる。
- ・荷受け方法ミス 重い荷物が他人にぶつかる・手のはさみ・荷物落とし等
- ・利用者同士のトラブル 重度パニック・じゃれあい等
- ・階段踏み外し捻挫
- ・癲癇による転倒
- ・引率時注意ミス
- ・微熱による意識障害 観察ミス

* 苦情申し入れ

0件

- ・要望あり コロナ発生地域への鍛錬会実施自粛
コロナ感染を心配し、電車利用等控えるため休所したい。

平成31年度 事業計画

月	内	福祉の店運営	研修計画
4	<ul style="list-style-type: none"> ・(5日) 春季鍛錬会 花見バーベキュー (山本・浅野・岸本) 	福井県・各市町 販売継続(通年事業) (主任・金岡)	OJT(所内研修)随時
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム防災訓練 (山田み) ・福井県障害者スポーツ大会FD競技(26日日) (金岡・小橋・馬場・栗塚) ・監事決算監査(23日木) (松原) ・定例決算理事会(30日木) (松原) 	鯖江つつじ祭販売 5月3日～5日 市子どもフェスタ中 央公園販売 5月4日・5日 越前陶芸祭り販売 (25～27日)	県社協主催各種職員研修会 社会福祉主事スクーリング栗塚 19日 ～24日
6	<ul style="list-style-type: none"> ・定例決算評議員会(20日木)(松原) ・自動車総連によるスポーツの祭典招待(9日日) (金岡・荒井・山田・松原) ・利用者県外2泊研修(22～24日) 函館 (山田・金岡・山本) 		日本セルフ研究大会(13・14日東京 中野) 田・松原・金岡
7	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季鍛錬会(15・16日) (荒井・小橋・浅野・栗塚) 		全国社会就労センター総合研究大会 (4・5日徳島) 田・長 北陸地区知的福祉協会職員研修 (4・5日金沢) 小橋・浅野 日本知的福祉協会全国施設長研修 (22・23日横浜) 次長・山本・馬場 社会福祉主事スクーリング山田味 25 日～30日
8	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練(避難・通報) (9日) 山田防災マネージャー ・ふる里踊り(13日) (山本・松原・馬場) 入賞 	梨販売キャンペーン(7・8・9・10月) (金岡・栗塚)	相談支援初任者研修 馬場・金岡・ 栗塚(29・30日) 福井ユウ・アイふ くい

	<ul style="list-style-type: none"> ・盆休み（14～16日） ・23日（金）京都府社会就労センター協議会視察研修受入れ25名 ・臨時理事会 22日 ・評議員選任解任委員会 28日（柑本→舟沢） 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時評議員会 4日 ・利用者定期健康診断 25日（水）（主任） 		全国知的福祉生産活動・就労支援部 会研修(5・6日)仙台 職員県外視察研修（28～30日）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時理事会 3日 食品作業棟建設について 	10月4日（金） たけふ菊人形販売 （～11月4日） 越前市赤十字奉仕 団及び越前市婦人 福祉協議会・保護 者各位販売応援ボ ランティア	4日（金）福井県知的障害者福祉協 会生産部会研修講師 田辺 全国知的障害者福祉協会職員研修 会（22～24日鹿児島）次長・金岡
11	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季鍛錬会（8日）京都嵐山・映画村（山本・金岡） ・越前市障害者スポーツ大会（FD市長杯）（10日）（荒井・山田・小橋） 		サビ管取得基礎研修 6日 金岡・馬場・栗塚 サビ管取得研修 13. 14日金岡 サビ管取得研修 26. 27日 馬場・栗塚
12	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種（3日） ・福井県障がい者総合スキル大会（3日） 福井生活学習館（弁論・調理・接遇・軽作業） 弁論2位・調理2・3位・軽作業1・2位 ・徳島県授産振興会視察研修受入れ（6日・金）30名 ・そば打ち会（14日） ・利用者ミニ文化祭・忘年会(22・23日） （山田・栗塚） ・防災訓練（避難・通報）（22日） 山田防災マネージャー ・年末大掃除(28日) ・年末年始休（29日～1月3日） 		東海北陸セルフ職員研究大会 （21・22日愛知）荒井・山田・講師 派遣田辺 日本知的障がい者福祉協会日中活 動支援部会 12月10日・11日札幌 主任・山本 日本財団就労フォーラム 12月14・ 15日シンポジスト田辺
1	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式・皆勤賞受賞式・初詣・食事会（11日） （荒井・浅野・馬場） ・新年度事業計画・予算理事会（29日）（栗塚） 		

2	・評議員会(19日) ・冬季鍛錬会22日(土) (ボウリング大会) (小橋・栗塚・加藤)	恵方巻販売3日 (月) (金岡・山本・栗塚)	1・2日福島県工賃向上研修会田辺 日本セルフ菓子部会実地研修京都 7・8日主任・金岡 全国セルフ施設長研修会27・28日
3	・リフレッシュデー(金岡・山本)中止		県集団指導 中止 山本・栗塚

日 課 表(平日)

時 間

業 務 内 容

7:20～8:15	通所(送迎バス・自転車・家族自家用車送迎)	
8:15～8:30	利用者着替え・体操・職員朝礼	
8:30～8:40	全体朝礼(健康チェック)10分	
8:40～10:20	班別打合せ・清掃・作業その1	100分
10:20～10:30	休憩	
10:30～12:00	作業その2	90分
12:00～13:00	昼食(歯磨き・共同利用各所清掃・休憩)	
13:00～14:30	作業その3	90分
14:30～14:40	休憩	
14:40～16:15	作業その4(清掃後始末等5分) ・・・冬期間は16:00作業終了有	95分
16:15～16:20	後始末・着替え等	
16:20～17:10	利用者帰宅(送迎バス・自転車・家族送迎)	

* (土曜日の日程・取扱い)

午前8時00分より午後2時までとする。

療育プログラムに添って、運動・音楽・調理・生活・学習等の各種セラピーを実施する。

- * その他、四季に応じた、鍛錬会・各種体験事業を取り入れる。
- * 土曜日の日中一時開所時間も上に同じ

職員定数換算表

* **ぴーぷるファン多機能型**平成31年4月1日～

多機能型定員40名（生活介護12名・就労移行6名・就労継続B型22名）

・管理者兼サビ管

常勤兼務 0.8 田辺 義明 多機能型管理者0.1兼サビ管0.7+（苦情解決責任者）
（会計管理責任者）

・嘱託医 非常勤嘱託医師 1 財団医療法人中村病院（医師）

・生活介護 定員 12名 現員 10名 職員定数 5 : 1

常勤専従 1 森本 由香里 看護師（介護福祉士）兼 主任+（苦情受付担当者）+
（就労支援員有資格）+（サビ管有資格）+（調理師免許）

常勤専従 1 栗塚 初枝 生活支援員（サビ管有資格）

・就労移行 定員 6名 現員 0名 職員定数 6 : 1

常勤専従 1 浅野 泰弘 就労支援員（社会福祉士）+（サビ管有資格）

常勤専従 1 馬場 雄平 職業指導員 兼 施設外就労支援員（サビ管有資格）

* 利用者がいない為就労継続支援B型へ応援

・就労継続B 定員 22名 現員 26名 職員定数 7.5 : 1

非常勤兼務 0,8 長谷川 洋子 9月30日まで職業指導員 兼 副施設長 兼 出納係
（調理師免許）

常勤兼務 0,8 山田 大希 賃金向上達成指導員（サビ管有資格）
（福祉施設防災マネージャー有資格）

常勤専従 1 川口 悠佳里 職業指導員

常勤専従 1 金岡 真里 生活支援員（中級障害者スポーツ指導員）

非常勤専従 0.4 建部 幸 職業指導員

非常勤専従 0.4 横井 沙友里 職業指導員

常勤専従 1 柑本 香奈子 職業指導員（調理師免許）9月1日より

* 開所日平日の支援員余剰は日中一時支援事業支援員を兼務。

多機能型休日の土曜日は支援員等6名以上が日中一時支援事業支援員とし勤務する。

* **第2ぴーぷるファン**

・就労継続B型 定員 20名 現員 14名 職員定数 7.5 : 1

・管理者

常勤兼務 0.1 田 辺 義 明

・サービス管理責任者

常勤専従 1 長谷川 浩 一 副施設長心得（サビ管）出納係 10月1日より

・支援員等

常勤専従 1 荒 井 崇 賃金向上達成指導員（就労支援員有資格）

常勤専従 1 小 橋 雄 三 職業指導員（防火管理者有資格）
（保健体育中・高教員1種免許）（サビ管有資格）

常勤専従 1 山 本 恵 職業指導員（保育士・幼稚園教諭2種免許）

常勤専従 1 加 藤 彩 華 職業指導員兼生活支援員

*** 共同生活びーふるファン**

・共同生活援助 定員8名（現員6名）

・管理者 0.1 田 辺 義 明

・サービス管理責任者 0.2名（30：1）

常勤兼務 0.2 山 田 大 希 サービス管理責任者（地域生活）

・共同生活援助生活支援員 0.1名（程度区分3（宝木1人）に対し9：1）

常勤兼務 0.1 山 田 味左恵

・世話人 1名（利用者6：1）

常勤兼務 0.9 山 田 味左恵 世話人

非常勤専従 0.5 藤 田 あさひ 世話人

委嘱 苦情解決第三者委員 ①坪田裕子 ②伊藤嘉規

その他の係り

1 重要事項説明及び契約	全職員
2 会計責任者（予算管理者）	田辺 義明
3 出納係	長谷川 浩一
4 苦情処理（受付担当者） （苦情解決責任者） （第三者委員）当法人監査役員	森本 由香里 田辺 義明 坪田 裕子・伊藤 嘉規
5 支援費等請求事務	栗塚初枝・山本恵
6 リスクマネジメント担当（食品衛生管理含む）	長谷川 洋子
7 衛生管理	森本 由香里
8 職場開拓担当	小橋雄三・荒井崇
9 販売係り（県庁他市町役場等）	金岡 真里
10 コンプライアンスアドバイザー	森本 由香里
11 防火管理者（普通救命講習修了者）	山田 大希・山田味左恵

- | | |
|-----------------|-----------|
| 12 防災マネージャー | 山田 大希 |
| 13 本部事務局兼任 | 栗塚初枝・山本 恵 |
| 14 越前市地域公益活動担当者 | 山本 恵 |
| 15 サービス提供責任者 | 森本由香里 |

ピーぷるファン

自主生産 G

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 弁当・縫製 | 長谷川洋子（職員及び事業管理） |
| 菓子・弁当 | 森本由香里（各催事販売・アセス契約・健康衛生管理・苦情受付） |
| 縫製・弁当 | 金岡 真里（販売） |

委託 G

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 委託作業開拓 | 浅野 泰弘（虐待防止委員・施設外就労） |
| | 馬場 雄平（カルチャー場所市社協等確保届・自動車税担当・施設外就労） |
| ビニール加工 | 山田 大希（作業開拓・虐待防止委員） |
| 若越チェア | 金岡 真里（椅子カバー縫製） |
| 軽作業 | 栗塚初枝（利用者名簿県届出・利用者旅行積金・職員積金・共済・事務局） |
| プレス作業 | 小森 拓実 |

第2ピーぷるファン

委託 G

- | | |
|-------|-------------------------|
| 営業責任 | 長谷川浩一（車両・建屋管理） |
| カット | 小橋雄三（施設外就労・防火管理者） |
| シール | 山本 恵（請求関係）（販売・ソウウェルクラブ） |
| 1枚たたみ | 加藤彩華 |
| 施設外就労 | 荒井 崇 |

グループホーム 山田味左恵・藤田あさひ